

一般社団法人 日本原子力学会 標準委員会 原子燃料サイクル専門部会
第 66 回 LLW 廃棄体等製作・管理分科会 (F9Ph2SC) 議事録

1. 日時： 2025 年 11 月 12 日 (金) 10 時 00 分～11 時 30 分
2. 場所： WEB 会議 (Webex を使用)
3. 出席者 (順不同、敬称略)
 - (出席委員) 福元主査、石川副主査、田村幹事、上田、椋木、工藤、小松原、坂下、鈴木、田中、新崎、丸、横田、菅原 (協委員の代理) (14 名)
 - (欠席委員) 大杉、柳原、山本 (3 名)
 - (常時参加者) 出雲、満田、古田、佐藤 (由)、澁谷、上市、稲継、山崎、山本、前川、宮田、中浜、柏木、阿部、東出、野村、宇田、駒月 (17 名)
 - (欠席常時参加者) 土田、酒井、山田、美濃 (5 名)
 - (オブザーバー) 小林、小暮 (常時参加者候補)

4. 配付資料

F9Ph2SC66-0_第 66 回 LLW 廃棄体等製作・管理分科会議事次第
F9Ph2SC66-1_ 専門部会・分科会人事シート LLW 廃棄体製作・管理分科会
F9Ph2SC66-2_第 65 回 LLW 廃棄体製作・管理分科会議事録案
F9Ph2SC66-3-1_大型角型容器形態編標準 (コメント対応表)
F9Ph2SC66-3-2_大型角型容器形態編標準 (新規附属書 X)
F9Ph2SC66-4-1_大型角型廃棄体標準検討作業会の委員追加
F9Ph2SC66-4-2_大型廃棄体標準検討作業会の進め方 (改定版)
F9Ph2SC66-5_原燃サイクル専門部会標準策定 5 か年計画見直し依頼
F9Ph2SC66-6_トレンチ対象廃棄物の取扱い標準の改定要否について

(参考資料) 2025 年度原燃サイクル専門部会標準策定 5 か年計画

5. 議事

(1) 出席者の確認

田村幹事から、14 名が出席しており、分科会成立に必要な委員数 (12 名以上) を満足している旨の報告があった。

(2) 人事について

田村幹事から、F9Ph2SC66-1 に基づき報告があり、柳原委員退任の確認と常時参加者として小林、小暮 2 名の登録が承認された。

(3) 前回議事録案の確認

田村幹事から、F9Ph2SC66-2 に基づき、前回議事録案について説明があった。本分科会において追加コメントは無く了承された。

(4) 前回分科会コメント対応について

委員から、F9Ph2SC66-3-1、F9Ph2SC66-3-2 に基づき、前回分科会コメントへの対応が示された。審議の中で、新規附属書XとYの標準内での位置付けの確認があり、標準内容を分かりやすく解説した解釈と技術的根拠及び廃棄体製作手順との回答があった。本件については標準全体の構成も踏まえた検討が必要であり、分科会終了後、委員や常時参加者のご意見をあらためて集約し検討を進めることになった。

主な質疑は以下のとおり。

(C) 例えば、9 ページに「X.3.2.1.1 埋設施設の受入要件に関する規定の解釈」があるが、その前の8 ページに「X.3.2.1 その他の要件（埋設施設の受入要件）」という項目名がある。X.3.2.1.1の項目名を「その他の要件（埋設施設の受入要件）に関する規定の解釈」等、X3.2.1の項目名と記載を合わせた方が全体として読みやすいのではないか。

(C) この委員のご意見のほうが良いように思える。

(A) 本文規定を四角で囲んだ上で、解釈事項を項目番号に沿って分かりやすく記載している。

(A) 表 X.17 と表 X.46 は重複しているので混乱すると思ったが、技術評価経験の反映で分かりやすく記載したということであれば問題ない。

(Q) 新規附属書XとYの位置付けについて確認したい。これらは本文含む標準全体の概要を示していると考えてよいか。詳細事項は他の附属書を見れば分かるということで、索引的なものという理解でよいか。

(A) 新規附属書XとYに附属書の内容を全て取り込むと膨大になる。詳細は各附属書に記載されている。標準本文の解釈及び技術的根拠を示すことが新規附属書X、廃棄体の製作手順を示すことが新規附属書Yの目的である。

(C) 附属書X、Yは手引書的なもので技術的根拠等のバックグラウンドは他の附属書に示されるものと理解した。

(C) 手引書、索引ということになると技術評価の対象はどこまでかという議論になる可能性もあるので、各附属書の位置づけを再検討したほうがよい。

(5) 大型角型廃棄体標準検討作業会の委員追加等について

幹事から、F9Ph2SC66-4-1 に基づき鈴木委員の作業会委員への追加報告があり承認された。また、前回分科会で審議した作業会の進め方の見直しについて、委員から F9Ph2SC66-4-2 に基づき報告があり了承された。第1回作業会は当初10月の予定であったが、12月に実施することになった。

特に質疑はなし。

(5) 原燃サイクル専門部会標準策定5か年計画見直し依頼

幹事から、F9Ph2SC66-5 に基づき報告があった。今後、作業会にて検討し改訂版をメールにて分科会メンバーに送付することとした。

特に質疑はなし。

(6) トレンチ対象廃棄物の取扱い標準の改定要否について

幹事より今年度下期に改定要否を検討することになっている標準について、F9Ph2SC66-6に基づき報告があり了承された。今回は改定不要としトレンチ処分の事業の見通しや設計ガイドラインの内容が明確になった後にあらためて改定要否の検討を行う。

特に質疑はなし。

6. 次回の予定

別途、調整する。

以 上